

会社紹介



はじめまして、天然木材工房 Kigumi の浅尾年彦です。祖父の代から続いてきた材木屋を継ぎ、2010 年に立ち上げたこの工房で木製のおもちゃや日用品の企画・販売を行っています。

とはいえ、日本の木工業界は安い海外製品や人材不足に押され、衰退の一途をたどっています。私たちも、何度も葛藤や悔しさを感じてきました。

左に写っているのは、Kigumi の商品を一緒に広めている青木栄次です。彼は木工業界の苦しい現状を知りながら、それでも木に関わる仕事をしたいと二年前に入社しました。彼のように木工業界に関わりたいと思いつつ、実際は現実の厳しさにあきらめざるを得ない若者がたくさんいます。

私たちは、子どもたち、そして木に関わる仕事の未来を描きたいんです。そんな願いを込めて、Kigumi の遊具やおもちゃを体験してもらえるプレイパークを建てようと青木と一緒に準備を進めています。

仕事を手放さざるを得なかった職人たちの想いと技を継いで



天然木材工房 Kigumi は、滋賀県長浜市の主要観光地として知られる「黒壁スクエア」の徒歩圏内にあります。おもちゃに限らず、食器やキーホルダー、家具などを販売していて、観光客の方が立ち寄ってくださることも多いです。

この Kigumi は、なんとかして木に関わる仕事を残したい、との思いで立ち上げました。祖父、父と続いてきた家業の材木屋を 3 代目の私が継いだものの、ここ 30 年間で全国の材木屋のうち約 9 割が廃業。一軒の材木屋には、約 30 人の木工職人と取引があります。つまりその 30 人の木工職人が職を失い、木工職人をお客さんとしていた材木屋もともに消えていったのです。



もちろん私たちも例外ではなく、みるみる衰退していく木工業界でどう生き残っていくのか、選択に迫られていました。業界の未来は明るくないし、現に私たちの仕事が減っている。本当に食べていけるのだろうか、従業員を養っていけるのだろうか。この仕事を続けるべきか、何度も悩みました。

それでも私の心に立ち上がったのは、「このままでは終われない」という意地だったのです。

賞をもらえるような素晴らしい技術を持つ木工職人、そして職人たちを支える材木屋が、自分の仕事と誇りを捨てて業界を去る背中を何人分も見送ってきました。しかも彼らは、仕事で使用していた機械を処分するにも「鉄屑」として扱われ、お金を払って機械を手放さざるを得なかった。これが僕らの業界への評価なのか……とみじめな気持ちになり、同じ業界にいる者として悔しくてたまりませんでした。だからこそ、私たちは終わらせたくなかったのです。



今は木工職人を目指す若者が門を叩いてくれても、「この業界では食べていけないよ」「やめておいたほうがいい」と断らざるを得ません。でも本当は、木工業界を目指す若者にこの業界の希望を見せたいんです。「木工職人になりたい」と言ってきたら背中を押したいんです。そのために、私はこの業界で生き残るための方向性を見つけ出すべく、木工業の可能性を探す旅に出ました。それが Kigumi の立ち上げです。

子どもたちの想像力と、木工業界の未来を拓ける

材木屋の私たちが Kigumi を立ち上げることができた背景には、廃業していった職人さんたちがいます。彼らが廃業するときに捨てられかけていた機材を買い取り、彼らにお願いして可能な限りの技術を引き継いでもらったのです。

時代の荒波に飲まれていった木工業界の職人たちから、機械だけでなく技と想いも引き継いだ Kigumi。私たちががすかな光を見出したのは、オリジナル商品です。企画から製造、販売まで一貫通貫で自社で担える強みを活かし、特に子ども向けの商品の開発を進めています。

株式会社浅尾

SHOP:天然木材工房 Kigumi

滋賀県長浜市元浜町 14-22(黒壁スクエア内)

TEL:0749-50-3097

工場:木製品の開発、製造、販売

滋賀県鳥羽上町 783 番地-1

TEL:0749-62-2419

FAX:0749-62-1099